

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市乾燥調製施設
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市玉島八島 1 5 1 0 - 1 名称 晴れの国岡山農業協同組合 代表者 代表理事組合長 石我 均
(3) 公の施設の所管部署	船穂支所（農林水産課）
(4) 評価対象期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は、「(1) 来客者への安全配慮について (2) リピーターを増やす取り組みについて」を重点的に評価した。</p> <p>(1) 来客者への安全配慮については、火災・地震等の天災時の避難誘導についてマニュアルを作成し、緊急時に備えることができています。</p> <p>また、車での来客者を安全に誘導するため職員を配置し、施設内での事故防止に努めているとのことであり安全に配慮した運営に努めていることが伺えます。</p> <p>(2) リピーターを増やす取り組みについては、利用者ニーズに応え、集配サービスに取り組み利用の促進に努めています。また職員による農家への直接勧誘により、新規利用者を獲得する事例もあり、既存顧客の再利用者に加え、新規利用者の増大にも努力をしています。</p> <p>総評として、指定管理者は、今年度組織の合併があり規模が大きくなったことで、船穂地区以外からの利用者もあり今後の利用増加が期待できます。また協定書の達成目標である、年間処理量 1 4 1, 8 t、</p>	総合評価
	A	

	<p>アンケートによる利用満足度 90%以上はともに達成しており、適正に運営できているといえます。</p> <p>ただし、令和 2 年度の単年度決算では、支出が収入を上回っており、収支について健全な経営が行われるよう努力を要する結果でした。</p>	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>ライスセンターは、稼働期間が限定される施設であり、水稻の収穫時期に集中的に効率よく作業を行う必要がありますが、運営が難しい点がありますが、長年管理を行ってきた経験を活かし、待ち時間の少ない運営や、事故の無い運転を心掛け、利用者が満足し、再利用につながるよう努力をしました。</p> <p>今年度は、水稻の収穫時期前にウンカによる被害が多発したことから、総扱い量については昨年を下回りましたが、目標処理量は達成することができました。</p> <p>利用者はこの施設の特徴である、小型乾燥機での個別乾燥を行うことが喜ばれ、再利用につながるという良い結果が得られています。</p> <p>施設の設備等については点検整備を実施し、不調の無いよう注意を払っておりますが、老朽化により運転中に故障が発生し、対応に苦慮することもありました。ここから先は、メーカーの交換部品の在庫期間を超えてしまう物もあり、今後の管理に不安があります。</p> <p>今年度も、利用者のニーズに応え、よりよいサービスを提供できるよう努力して運営を行いましたが、利用者の高齢化が進んでおり、将来の利用者確保について課題となっています。</p> <p>また、収支の面では赤字となってしまいました。今年度は施設の修繕費が想定を超えて必要になったことと、昨年までは必要のなかった籾殻の処理費用が発生したことが原因と思われます。</p> <p>全体的には、今年度も安定的な利用があり、処理量も顧客の満足度も目標達成できており適正な管理運営ができたと思っています。</p>	
(3) アンケート結果の概要	<p>利用者の状況では、男女比は男が 7 割近く圧倒的に多くなっており、年齢別では 60 歳代以上が 7 割弱と高齢化が顕著です。利用者の住まいについては船穂地区に限らず、玉島、真備地区の方も半数近くあり、広域に利用されていることがわかりますが、これについては、住まいよりも、圃場と施設の距離が影響されるのではないかと考えられます。利用の頻度については、年に 2 回以上が大半を占め、同一の利用者が複数回利用</p>	

することが良くわかります。また、施設への持ち込みについては、自身で持ち込むものが多いですが、ライスセンターの運搬サービスを利用する方が3割程度あり、利用者の高齢化に伴い、今後このようなサービスを継続することが施設利用の増大につながるのではないかと考えられます。

管理運営については、全体満足度で施設指定管理業務協定書に定める達成目標（2）利用者アンケートによる満足度90%以上を満たしており、良好な結果を得ていますが、施設の清潔度について見ますと、やや不満という意見が2割程度あり、この点について意識した管理運営に注力が必要と考えます。

開館期間、営業時間及び利用料金についても、多くの利用者から、適当であると回答を得ており特に問題となることは無いと言えます。

少数意見として営業時間を夜間に延長してほしいという意見もあり、施設従事者のワークライフバランスを考慮しながら今後の課題として、より利用度の高い施設運営が期待されます。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	施設の利用実績 平成 27 年度 188 件 平成 28 年度 178 件 平成 29 年度 199 件 平成 30 年度 161 件 令和 元年度 162 件 令和 2 年度 156 件
(2) 事業の内容	・乾燥調製施設の運営により、水稻栽培農家・高齢農業者・認定農業者の労力削減を図る。

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 5,076 千円 市からの指定管理料 (委託料) 0 千円 利用料金 5,076 千円 その他の収入 0 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 5,493 千円 主な支出 人件費 1,294 千円 光熱水費 772 千円 修繕料 2,155 千円 消耗品費 142 千円 施設管理委託費 132 千円 粃殻処理費 830 千円 その他経費 168 千円